

令和4年5月23日
教育部文化課
0438-23-5309

木更津みなとぐちアートプロジェクト^{ニーマルニーマー ミナート}2022 (MINART) の開催について

市制施行80周年記念協賛事業として、木更津駅西口から木更津港にかけての中心市街地において、アートにより新たな魅力を創出するためのイベントを開催します。

アーティストと子どもたちを中心に地域の人々とともに「考える・つくる・みせる」ことを学びながら、それぞれが「アート」を体感して、新たな文化・芸術的価値を創造していくための教育・普及活動に資する取り組みです。

1 会期

(1) 作品展示及びワークショップ

令和4年11月18日(金)から12月4日(日)

(2) 小中学校出前ワークショップ

令和4年6月から11月まで

2 会場

(1) 作品展示(木更津駅西口から木更津港にかけての中心市街地)

スパークルシティ木更津、木更津市中央公民館、JR 木更津駅、鳥居崎海浜公園、久留里屋商店、ヤマニ綱島園、木更津会館、寺院など

※参加アーティストは、別添資料1のとおり

(2) ワークショップ

木更津市中央公民館ほか

(3) 小中学校出前ワークショップ

市内各小中学校の教室

3 実施体制

主催：木更津みなとぐちアートプロジェクト実行委員会

共催：木更津市・木更津市教育委員会

後援(予定)：千葉県・千葉県教育委員会・商工会議所・近隣市

4 ロゴデザイン

別添資料2のとおり

総合ディレクター

風戸 重利(かざと しげとし)	スリーシーファミリア株式会社 代表取締役
-----------------	----------------------

ディレクター

渡邊 五大(わたなべ ごだい)	東京藝術大学 大学院美術研究科 芸術学専攻 美術教育研究室 准教授
笠井 慎吾(かさい しんご)	スリーシーファミリア株式会社

参加アーティスト

荒木美由(あらき みゆ)	造形作家
加藤 修(かとう おさむ)	美術家、千葉大学教授
刈込 芳一(かりこみ よしかず)	造形作家、木更津総合高等学校教諭
小林 雅子(こばやし まさこ)	美術家
関 直美(せき なおみ)	造形作家
西村 陽平(にしむら ようへい)	美術家、日本女子大学名誉教授
宗政 浩二(むねまさ こうじ)	造形作家
矢成 光生(やなり みつお)	美術家
石城 麻衣(いしき まい)	美術家、木更津総合高等学校教諭
斎藤 英理(さいとう えり)	映像作家
永津 守(ながつ まもる)	造形作家

出前ワークショップ実施予定校 11校

木更津第一小学校(斎藤英理)、木更津第二小学校(石城麻衣)、南清小学校(荒木美由)、鎌足小学校(加藤修)、
富来田小学校(西村陽平)、請西小学校(小林雅子)、真舟小学校(矢成光生)、(私立)暁星国際小学校(宗政浩二)、
波岡中学校(永津守)、清川中学校(関直美)、(私立)木更津総合高等学校(刈込敬一)

ディレクター紹介

総合ディレクター | 風戸 重利 Kazato, Shigetoshi

現代美術のディレクションを中心業務に デザイン、イラスト、ビデオ制作等
アーティスティックなビジュアルを総合プロデュースします。
千葉／東京を地盤に広く現代アートを紹介、30年以上のキャリアと実績。



略歴

- | | |
|------------|--|
| 1957年 | 千葉県市原市鶴舞に生まれる |
| 1972年 | 千葉県立市原高校に入学 版画家 深沢幸雄先生に師事 |
| 1976年 | 武蔵野美術大学造形学部実技専修科に入学 油彩、彫刻専攻 |
| 1979年 | 研究課程 麻生三郎教室 |
| 1980年 | 武蔵野美術大学造形学部実技専修科を卒業 |
| 1981年 | アメリカ ニューヨーク州に留学 |
| 1982年 | アート スチューデント リーグ オブ ニューヨーク入学
POPPO ダンスカンパニーに、アシスタントディレクターとして参加 (※1) |
| 1983年 | ナムジュン・ペイク氏企画による 『グッドモーニング・ミスター・オーウェル』制作スタッフとして参加 (※2) |
| 1984年 | 帰国 |
| 1985年 | 株式会社近代造形（千葉市）に入社
・公園施設および文化施設メーカー
・環境美術企画部にてパブリックファニチャー、モニュメントのデザイン、設計を手掛ける |
| 1989～1982年 | ギャラリー・セーラム（千葉市）のアート・ディレクターに就任 (※3)
・現代美術専門画廊として多くの現代美術作家を企画紹介また、アメリカの現代美術も企画販売する |
| 1992年 | アートエージェンシーC A S A D Oを創業
・アーティスト・マネージメントを中心業務、現代美術の企画、運営 |
| 1993～2020年 | ギャラリー・オカベ（銀座/東京）と企画展のディレクター契約を結ぶ (※4)
・閉廊のため～2020年7月までの27年間 |
| 1997～2007年 | 千葉アートフラッシュ展 千葉市民ギャラリー・いなげ (※5)
・千葉市在住の若手美術作家を中心に旧神谷伝兵衛稲毛別荘敷地内全体を展示スペースとした
10年間におよぶ現代美術プロジェクト |
| 2007年8月 | 総合美術企画のクリエイティブ・カンパニー。スリーシーファミリア株式会社を設立 |
| 2015年～ | 天王洲セントラルタワー・アートホール企画展スタート |
| 2016～2017年 | 金谷アーティストプログラムinプログラム「南総金谷藝術特区」を開催 (※6)
・若手作家10人によるアーティストinレジデンス |
| 2018～2022年 | 木更津アートプロジェクト
・2022年公開 現代美術作家と子供たちによるアートコラボレーション |
| 2020年～ | 株式会社カメラアのクリエイティブ・ディレクターとなる。
・小松庵銀座店のアート・ディレクターに就任

「人を結ぶ」をメインテーマに「食と現代美術」のコラボレーションを展開。 |

※1

POPPO Dance Company 1982～83年 ニューヨークN.Y.ダンステリア等で活躍したPoppo 白石主催のダンスカンパニーで運営、舞台作成、プログラム進行スタッフとして参加。

※2

Good Morning Mr.Orwell 1983年 ニューヨーク

ナムジュン・ペイク企画制作により1984年1月ニューヨーク・パリ間衛星生中継番組でおこなわれたリアル・タイムの双方向通信プロジェクト、『グッド・モーニング・ミスター・オーウェル』の資金づくりため、ペイク氏と親交が深かったフルクサス・アーティスト（ヨゼフ・ボイス他12名）に呼びかけ、1983年3月より野田正明氏のニューヨーク・ソーホ地区にあるスタジオで彼らが描いた原画をシルクスクリーン・プリントに起こす制作スタッフとして参加。

※3

ギャラリー・セーラム（千葉市） 1989～1992年 アート・ディレクター/風戸重利

千葉県初の現代美術専門画廊のアート・ディレクターとして、若手県内作家発掘、有名現代美術作家の企画紹介、また、アンディーウォーホル、ジャスパージョーンズのアメリカ現代美術作家の展覧会も企画。版画家浜口陽三（ヤマサ醤油創業家）をサンフランシスコに訪問、交渉し、作品の展示及び、千葉市美術館に収蔵を行う。

※4

ギャラリー・オカベ（東京） 1993～2020年

共同企画展（ギャラリー・オカベ＋スリーシーファミリア）のアート・ディレクター/風戸重利

銀座の中心地4丁目の画廊で27年間、年5～6回の共同企画展をアート・ディレクターとして作家の選定及び企画運営を行う。

※5

千葉アートフラッシュ展 1997～2007/全12回開催

企画編集及び総括責任者/風戸重利、千葉市民ギャラリー・いなげ 主催/千葉市

千葉のアートシーンの最もフレッシュな部分を展覧会の主目的に据え、千葉市出身またはゆかりの作家を中心に全国から集まった延べ132名の現代美術作家が旧神谷伝兵衛稲毛別荘敷地内全体を展示スペースとした10年間におよぶ現代美術プロジェクトの企画編集及び総括責任者。

企画運営委員（千葉県画廊協会代表、副代表、千葉日報社文化部部長、美術家、千葉市美術館学芸員、館長）を中心に展覧会テーマ、参加アーティストの選考を行い総括責任者（風戸重利）と市民ギャラリー・スタッフが運営を行う。

* 旧神谷伝兵衛稲毛別荘（国の登録有形文化財に指定）浅草の神谷バーや茨城の牛久シャトーの創設者である“日本のワイン王・神谷伝兵衛”が大正7年に建てた別荘洋館。

※6

金谷アーティストプログラムinプログラム「南総金谷藝術特区」 2016年7月～2017年3月開催

プロジェクト統括及びアート・ディレクター/スリーシーファミリア代表風戸重利 主催/金谷美術館

10名のアーティストを選定し金谷美術館を中心にしたエリアで滞在しながら作品制作展示発表までを行うアーティスト・イン・レジデンスを設定したアート・プロジェクト全体の総括責任者。

国内で活躍する現代美術家であると同時に、美術教育の現場に長年携わる美術教育者。
美術と教育の専門家ならではのアート企画・教育プログラムの企画し指揮を取ります。



略歴

1990 年 3 月 東京藝術大学 美術学部 彫刻科

1992 年 3 月 東京藝術大学大学院 美術研究科修士課程 彫刻専攻

1992 年 4 月～1995 年 3 月 東京藝術大学美術学部彫刻科（彫刻基礎講座）助手

1995 年 4 月～1996 年 3 月 東京藝術大学美術学部彫刻科（金属研究室講座）助手

1996 年 11 月～1998 年 10 月 文化庁派遣芸術家在外研修員（彫刻分野、米国）

1999 年 4 月～2011 年 3 月 湘南美術学院（基礎科）講師

2005 年 4 月～2010 年 3 月 東京藝術大学美術学部彫刻科（金属研究室講座）非常勤講師

2011 年 4 月～2013 年 3 月 群馬県立女子大学文学部美学美術史学科（教職必修科目彫塑講座）非常勤講師

2011 年 4 月～2013 年 3 月 神奈川県立川和高等学校 非常勤講師

2013 年 4 月～2015 年 3 月 神奈川県立金井高等学校 臨任教諭

2015 年 4 月～2019 年 3 月 神奈川県立上矢部高等学校 教諭

2019 年 4 月～ 東京藝術大学美術学部 准教授

委員歴

2020 年 4 月～ 美術教育研究会 大会委員

MISC

・地域社会で機能する美術とは—東京藝術大学+足立区連携事業「光のおばけ煙突プロジェクト」実践報告

・美術教育研究 No.16 2011 年 6 月 筆頭著者

・東京藝術大学+足立区連携事業「光のおばけ煙突プロジェクト 2006-2011」記録集 2011 年 3 月 筆頭著者

講演・口頭発表等

・幼児期における美術の造形と表現による可能性についての実践的研究「ねんどワールドであそぼう！」

・第 26 回美術教育研究会・オンライン大会 2020 年 12 月 27 日

芸術活動

2021 年 「UNMANNED 無人駅の芸術祭 / 大井川 2021」『表参道 - 願いをつなぐ -』〈カ五山プロジェクト〉

2019 年 「第 10 回藤沢今昔・まちなかアートめぐり 2019」《選るところ - 思い出の光 -》〈カ五山プロジェクト〉

2018 年 「第 7 回越後妻有トリエンナーレ」十日町市高倉集落〈カ五山プロジェクト〉

2017 年 「小田原ピエンナーレ」清閑亭（神奈川）

2017 年 「金属彫刻展 原武典と 20 人」「七曜七人展」いりや画廊（東京）

「奥能登国際芸術祭 2017」ラポルトすず（石川）〈カ五山プロジェクト〉

2016 年 「BORDER/BORDERLESS」楽土舎（静岡）〈長橋秀樹+山本浩二+渡辺五大〉

2015 年 「第 6 回越後妻有トリエンナーレ」十日町市高倉集落〈カ五山プロジェクト〉

2015 年 「つくる展」茅ヶ崎市美術館（神奈川）〈カ五山プロジェクト〉

2014 年 「楽土の森アートプロジェクト 2014」楽土舎（静岡）

2014 年 「つくる展」茅ヶ崎市美術館（神奈川）

2013 年 「瀬戸内国際芸術祭 2013」丸亀市本島惣光寺〈カ五山プロジェクト〉

「ぎゅっとねんどアートプロジェクト」グランシップ 6 階展示ギャラリー（静岡）

2012 年 「渡辺五大 個展」天王洲セントラルタワーアートホール（東京）

「たんばら風と光のアートツリー」沼田市たんばらラベンダーパーク（群馬）

「第 5 回越後妻有トリエンナーレ」十日町市高倉集落〈カ五山プロジェクト〉

「千手の絆キャンドルナイトアートプロジェクト」足立区北千住駅東口交通広場

「アートクロッシングにいがた：うちの DE アート」新潟県内野町

2011 年 「横浜の森美術館展 4」横浜動物の森公園予定地（神奈川）

2010 年 「第 13 回我孫子国際野外美術展」相島芸術村（千葉）

社会貢献活動

青森県ふるさとを愛する心を育む芸術体験プログラム《縄文漁網を編む - 植物素材をつかった漁網制作 -》

青森県環境生活部県民生活文化課 東京藝術大学 あおもり Jomon Gyomo プロジェクト 2019 年 10 月 26 日 ～ 現在
(講師, 企画, 運営参加・支援)

幼児期における美術の造形と表現による可能性についての実践的研究『卒園記念にみんなで銅版画をつくろう』

東京藝術大学美術教育研究室 荒川区教育委員会 2021 年 2 月 22 日～2021 年 3 月 12 日
(講師, 助言・指導, 企画, 運営参加・支援, 報告書執筆)

高等学校芸術科(工芸)日本の伝統と文化「友禅染」～糸目糊を用いた技法を学ぶ～

令和 2 年度芸術系教科等担当教員等全国オンライン研修会 2020 年 12 月 3 日～2021 年 2 月 22 日
(講師, 企画, 運営参加・支援)

オンライン創作体験ワークショップ「レリーフをつくる ～塑造と石膏どり技法を学ぶ～」

静岡県袋井市教育委員会 袋井市・東京藝大交流事業 2020 年 12 月 5 日～2020 年 12 月 19 日
(講師, 助言・指導, 企画, 運営参加・支援)

令和元年度芸術系教科等担当教員等研修会 関東・甲信越地区ブロック研修会

文化庁「工芸作品と作品をつくる道具についての鑑賞教育」東京藝術大学大学美術館・木工室 2019 年 12 月 21 日
(講師)

幼児期における美術の造形と表現による可能性についての実践的研究

荒川区教育委員会 東京藝術大学《ねんどワールドであそぼう!》2019 年 9 月 4 日
(講師, 企画, 運営参加・支援)

所属学協会

美術解剖学会

美術教育研究会

ジャンルを問わず、ボーダレスなデザインワーク・ブランド構築などを中心に国内外数々の企業や行政のプロジェクトに参加。リサーチ・コンセプト・クリエイティブワークのディレクションをします。



略歴

- 1998～2003年 Ecole d'art Marlyse Eloy 卒業（パリ）
グラフィックデザイン、ヴィジュアルコミュニケーション
- 2003年 デザイン プロダクションDragon Rouge にてパッケージデザイン部署デザイナー（パリ）
Perrier（ペリエ）、Vittel（ビッテル）、NESTLE（ネスレ）、マイルドセブン等のプロジェクトに参加
- 2004年 フリーランスのデザイナー、アートディレクター（パリ）
主なプロジェクト：
LANCEL（ランセル）、Veuve Clicquot（ヴーヴクリコ）／Bouchron（ブシュロン）
Sygidurs（シジデュース）イル＝ド＝フランス：サルセル地区総合リサイクルセンター
- 2006年 日本帰国、フリーランスのデザイナー・クリエイティブディレクター
スリーシーファミリア株式会社クリエイティブディレクター就任
主なプロジェクト：
八木通商／ワイキューブ／Zoff／オペレーションファクトリー／PBN／ヒューマンネットワーク
ワミレスコスメティック／湘南美術学院／東京藝術大学／
- 2011年 上海移住、デザインプロダクション Gralic Design アートディレクターに就任

主なプロジェクト：
・シューズメーカーDaphne グループの総合ブランディング、アートディレクションCI開発
・鼎泰豊グループのレストランチェーンのブランディング、アートディレクションCI開発
・サンリオ、ハローキティカフェのブランディング、アートディレクションCI開発
・STARWOODS グループのサイン開発ディレクション（シェラトン、WESTIN 等）
・中国ホテルグループHUAZHU ブランディング、サイン開発ディレクション（Hangting、J-hotel 等）
・経済特区嘉定文化事業・文化センター、博物館、図書館のアートディレクションCI・サイン開発開発
- 2016日本帰国～2021 スリーシーファミリア株式会社クリエイティブディレクター、Gralic Designクリエイティブディレクター

主なプロジェクト：
・資生堂 CHINA ブランド「AUPRES」クリエイティブディレクション・ブランド設計・CI 開発（中国）
・ホテルグループ「HUAZHU」H-world アートディレクションCI 開発（中国）
・Eye wear Brand「Mieru」クリエイティブディレクション CI 開発（中国）
・ファストファッションブランド「HOTWIND」ブランド設計・CI 開発、サイン開発（中国）
・「インターコンチネンタルホテルズグループ（IHG）」サイン開発（中国）
・複合商業施設「V-time」万科企業 Vanke（中国）
・地域アートプロジェクト「南総金谷藝術特区」クリエイティブディレクション（日本）
・「成田山書道美術館」ブランド設計・CI 開発、（日本）
・再春館製菓所ドモホルンリンクル・痛散湯原材料紹介ムービー制作（日本）
・アートチャイルドケア ACC 新卒採用ムービー制作（日本）
・ファーニチャーブランド「RK-ONE」アートディレクション、メゾン・エ・オブジェ参加（上海・パリ）
・ハイアットホテルアンドリゾーツ「HYATT CENTRIC」「CAPTION」サイン開発（中国）
・ピナセーコー「PERFETTO」アートディレクション（日本）
・鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム（日本）

VISUAL IDENTITY

BASIC ELEMENTS

LOGO SET 01



LOGO SET 02



LOGO SET 03



CONCEPT

多くの人々が親しみを持てるカタカナを、非言語的にも視認性の高い特徴的なオリジナルタイポグラフィで構成し、プロジェクト名を自信をもって言い切るような力強い表現。

頭文字「ミ」から始まる図形の動きは、「考える、つくる、みせる」ことを学び経験しながら、多種多様な人々が参加し未来へ向けて協働していく様子を象徴しています。

ボーダー柄のデザインが港町を感じさせると同時に、アートプロジェクトにより多様な価値観が広がる様子も表現。

VISUAL KEYWORDS

自信

新しい
価値発見

多様性

SLOGAN

MINART (ミナート) の意味をわかりやすく表現

ミンナとアート
みなとぐち

VISUAL IDENTITY

MAIN COLOR



MINARTブルー

港町木更津の海と空、木更津ブルーを感じさせる
爽やかなブルー

COLOR OPTIONS

プロジェクトの広がりを持たせる多彩なカラー展開



STAFF | 事務局



ARTIST | アーティスト



SUPPOTER | サポーター



COLLABORATION | コラボ

APPLICATION DESIGNS

